

# 経営比較分析表（令和6年度決算）

北海道上富良野町 上富良野町立病院

法適用区分	業種名・事業名	病院区分	類似区分	管理者の情報
当然財務	病院事業	一般病院	50床未満	自治体職員
経営形態	診療科数	DPC対象病院	特殊診療機能 ※1	指定病院の状況 ※2
直営	5	-	ド訓	救
人口（人）	建物面積（㎡）	不採算地区病院	不採算地区中核病院	看護配置
9,706	3,708	第2種該当	-	10:1

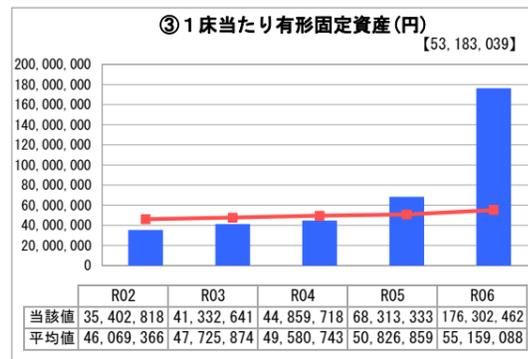
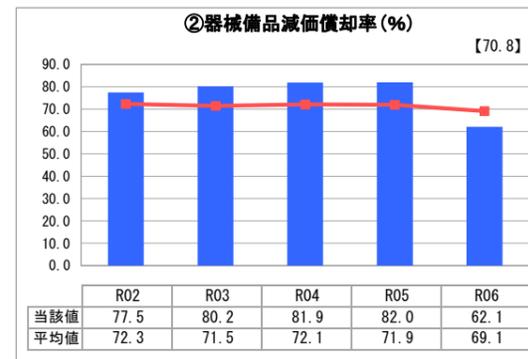
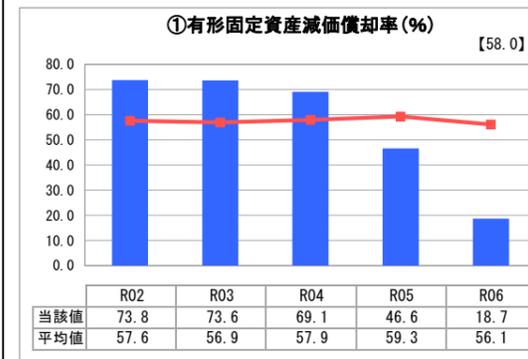
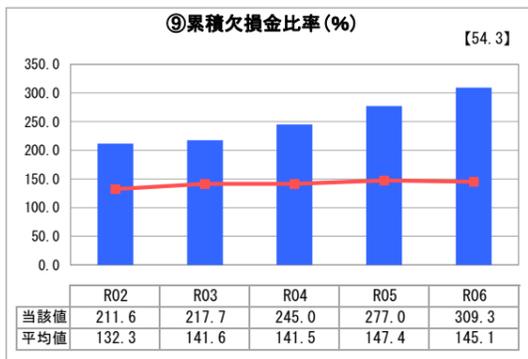
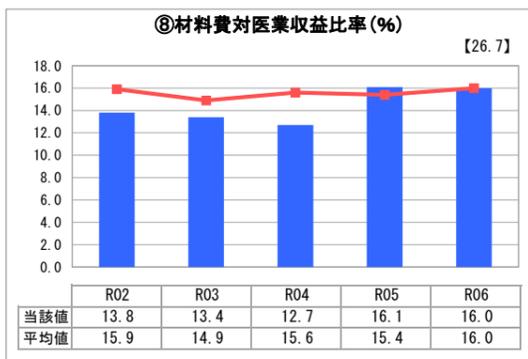
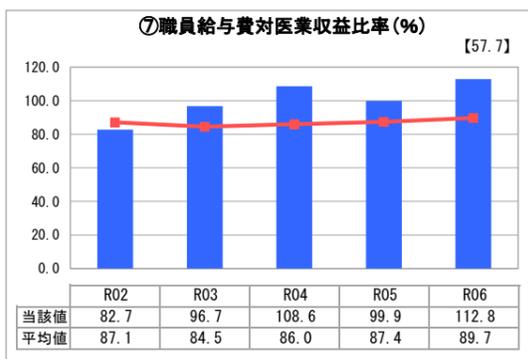
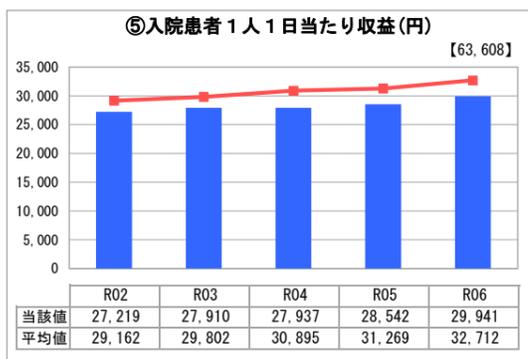
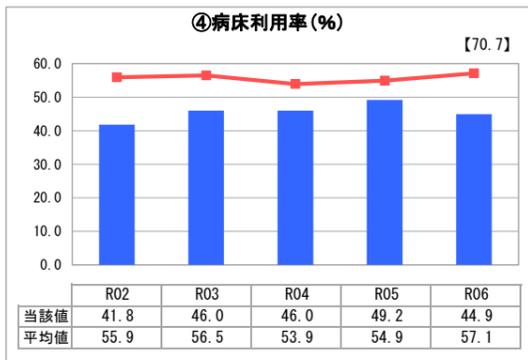
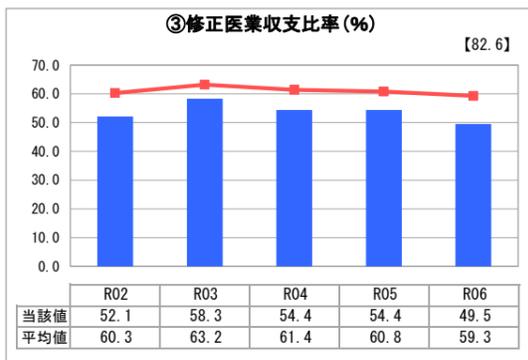
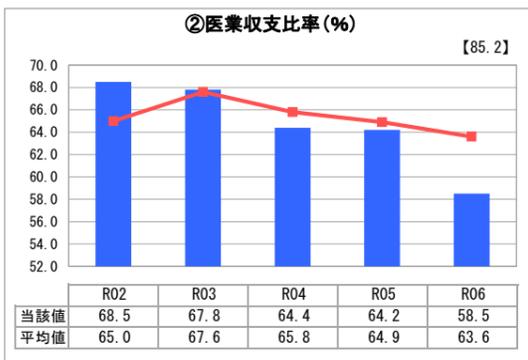
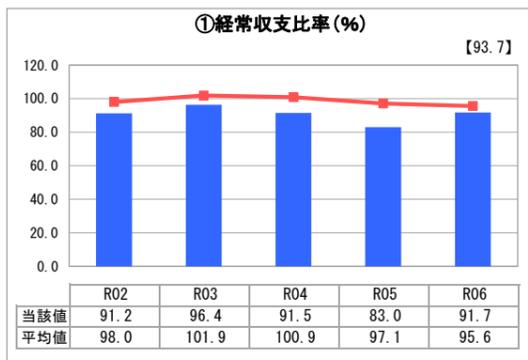
※1 ド…人間ドック 透…人工透析 I…ICU・CCU 未…NICU・未熟児室 訓…運動機能訓練室 ガ…ガン（放射線）診療

※2 救…救急告示病院 臨…臨床研修病院 が…がん診療連携拠点病院 感…感染症指定医療機関 へ…へき地医療拠点病院 災…災害拠点病院 地…地域医療支援病院 特…特定機能病院 輪…病院群輪番制病院

許可病床（一般）	許可病床（療養）	許可病床（結核）
39	-	-
許可病床（精神）	許可病床（感染症）	許可病床（合計）
-	-	39
最大使用病床（一般）	最大使用病床（療養）	最大使用病床（一般+療養）
39	-	39

グラフ凡例	
■	当該病院値（当該値）
—	類似病院平均値（平均値）
【	令和6年度全国平均

## 1. 経営の健全性・効率性



## 2. 老朽化の状況

## 経営強化に係る主な取組（直近の実施時期）

機能分化・連携強化 (従来の再編・ネットワーク化を含む)	地方独立行政法人化	指定管理者制度導入
-	年度	年度

### I 地域において担っている役割

当院は、町内唯一の有床病院として、入院、外来、救急医療を担っています。また公衆衛生活動として特別養護老人ホームへの診療、予防接種、特定健診の実施のほか、介護医療院を併設しており地域医療の核となる医療機関となっています。  
また、富良野圏域医療圏にある二つの救急指定病院のうちの一つであり、慢性疾患から救急に至るまで、2次、3次医療圏へのゲートキーパーとして大きな役割を担っています。

### II 分析欄

#### 1. 経営の健全性・効率性について

経常収支比率は、常勤医師の欠員及による収益の減収並びに人件費・物価高騰による費用の増加が影響し前年度比8.7ポイント増の91.7%となりました。  
依然として低い水準であり、安定的かつ持続的な地域医療の確保を維持するため、診療報酬の増額改訂など、収支構造の見直しを求められます。  
このことから、健全な経営水準に達しておらず、医業収支比率及び累積欠損金比率も改善に至っていない現状です。

#### 2. 老朽化の状況について

築40年以上が経過した旧病院の老朽化等に併い令和2年から改築整備事業を進め、令和7年5月1日に新病院（鉄筋コンクリート造4階建て）を開院しました。  
39床あった一般病床は人口減及び病床稼働率から30床へ削減、併設する介護医療院は待機入所者数及び町外施設を利用している状況を勘案し32床から40床へ増床しました。  
また、1床当たりの有形固定資産が平均を大幅に上回っておりますが、病床数減少と新病院建築に伴う経費増が主な原因と推測されます。

#### 全体総括

人口減少及びコロナからの受診控え影響による収益の減収、また物価・人件費高騰の影響により費用が増加となったため、経営状況は数年厳しさを増しています。  
多様化する町民ニーズに応え地域医療を支える医療機関として安定した運営が継続できるよう、これまで以上に経費等を削減し、また経営強化プランを見直すなど経営の健全化を目指します。

※「類似病院平均値(平均値)」については、病院区分及び類似区分に基づき算出している。